

災害に強い町作り

建設をまい進してきた結果、小さな敷地に4, 5階建てのビルが立ち並ぶようになりました。小さな敷地では非常階段が設けられず、商用地では避難器具を設置するくらいなら貸

したほうがいいなどという理由で設けられていないビルも見かけます。

そんなビルの最上階の窓の上にロープがぶら下げられる金具を設置し、

内階段しか逃げ場のないビルの階下で火災が発生すれば階段は煙のダクトになり、先の見えない階段を下りていかなければ成らない。外に出るまで火の手が無ければいいが、有った時には万事休す。

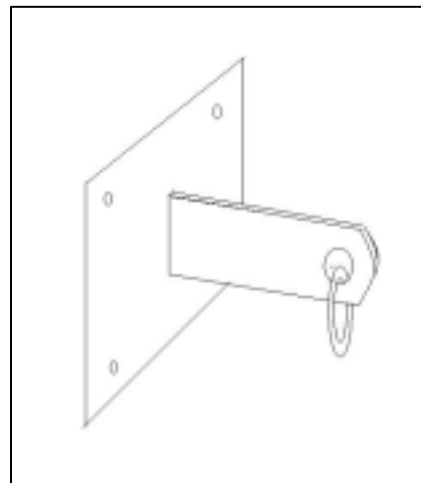
そんな時ビルの外壁を降りられる器具があったら助かるのにと、考え付いたのがロープを利用する降下器、左の写真のようなセット、カラビナとスリンクと転落防止の大口径ワッシャーが必要ですが、金具に2巻すれば腕力が無い人でも降りていける。金具にロープを4巻もすれば右の写真のように人がぶら下がって手放しをしても暫くは降りてはいかない、降りるためには器具にロープを送り込まなければ降りては行かない、通常2巻が良いだろうと思います。

外壁とロープとの間が4、50cm開いていれば大抵の人は建物に接触することは無く、自分のペースで降りていけるだろうと思います。使いこなせれば、大抵の災害に役立つだろうと思います。

仕事で使うなら、ハーネスを使用すればもっと楽に降りることができ、足場が要らない作業ができるだろうと思います。

そんな降下器が下の写真で、急斜面や垂直の崖をおりることができます。

ます。



災害に強い街づくり